



C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
1-C1	観光振興	一般	千葉県	直接		観光振興	広域周遊観光ルートプロモーション	リーフレット等作成	外房・南房総地域						10	
										合計					10	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C1	圏央道の開通を契機に、広域周遊観光ルートをPRすることで観光の振興を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

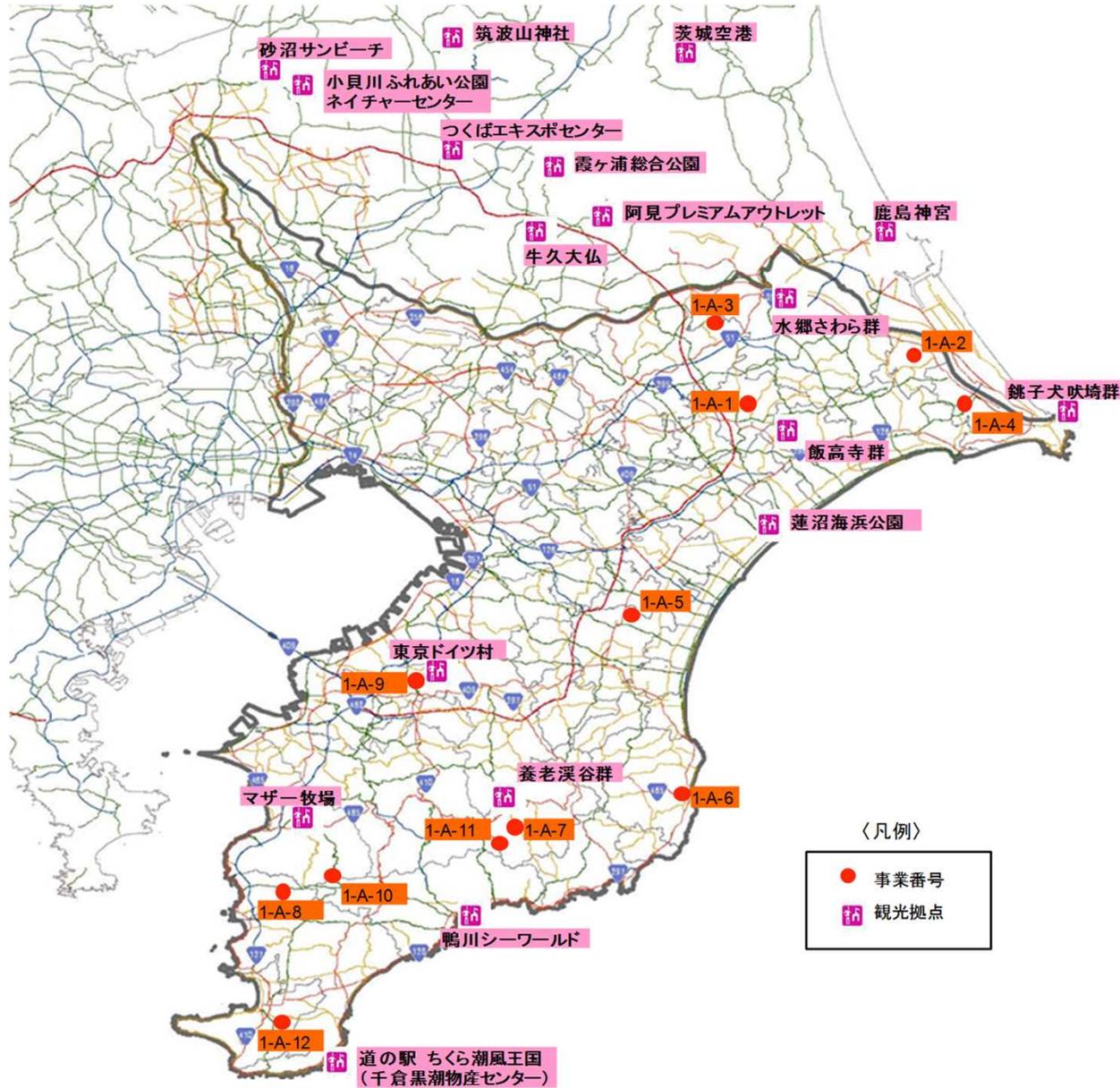
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		(主) 多古笹本線（多古町多古）（1-A1-1）、（国）465号（いすみ市深堀）（1-A1-6）の整備が完了し、広域観光ルートの一部が形成されたことにより、観光入込客数の増加が図られた。														
II 定量的指標の達成状況	千葉茨城交流圏域における観光入込客の増加率	最終目標値	105%（9,783万人）	目標値と実績値に差が出た要因	圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に、神崎IC～稲敷IC区間が平成26年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により、当初の目標値を上回る実績となった。											
		最終実績値	127%（11,821万人）													
	南房総地域における観光入込客の増加率	最終目標値	105%（1,635万人）	目標値と実績値に差が出た要因	圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により観光入込客が増加したと思われるが、南房総地域については、東日本大震災（H23.3）の影響により、千葉県産の新鮮な魚介類や農産物を利用した「食料品」の関連業界が風評被害にあっている傾向が強く、観光客数は当初の目標値を下回る実績となった。											
		最終実績値	92%（1,435万人）													
	外房地域・南房総地域における観光入込客の増加率	最終目標値	105%（7,503万人）	目標値と実績値に差が出た要因	圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により、当初の目標値を上回る実績となった。											
		最終実績値	123%（8,768万人）													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																

## 3. 特記事項（今後の方針等）

本計画終了後の平成29年度より「千葉茨城交流圏域における観光振興による広域的な地域活性化」を実施中であり、引き続き広域的な観光ルートを形成することにより、観光振興による広域的な地域活性化を図る。

# 広域連携事業（参考図面）

計画の名称	圏央道を軸とする千葉茨城交流圏域における観光振興による広域的地域活性化	
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象 千葉県（茨城県と連携）



〈凡例〉

- 事業番号
- 🏞️ 観光拠点